

OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO  
2025

Konohana Bridge

Yumemai Bridge

New Subway  
Station

Yumesaki Tunnel

# 万博・SDGsを通じた関西活性化

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 森清

テーマ	<b>いのち輝く未来社会のデザイン</b>
サブテーマ	<b>Saving Lives (いのちを救う) Empowering Lives (いのちに力を与える) Connecting Lives (いのちをつなぐ)</b>
コンセプト	<b>People's Living Lab (未来社会の実験場)</b>
会場	夢洲 (大阪市此花区)
開催期間	2025年4月13日 (日) – 10月13日 (月)
想定入場者数	約2,800万人



# 万博会場（夢洲）



# 万博 = 「SDGs + beyond」 達成への飛躍の機会



- 2025年は、SDGsの目標年である2030年の5年前
- SDGs達成に向けた取組を加速させる絶好の機会
- 2030年のSDGs達成にとどまらず、+ beyond(2030年より先)  
に向けた目標が示されることが期待される。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



# SDGs 達成に貢献する「共創」の万博に向けて

人類共通の課題解決に向けた大きなムーブメントを起こす

SDGs共創プロジェクト **“TEAM EXPO 2025”** を立ち上げ

2025年  
大阪・関西  
万博へ

開催前から、社会課題に取り組む  
大学、自治体、NPO、個人、企業等による  
**組織を越えた「共創」を促進**

地域の魅力・取組を  
世界へ発信



2020年  
取組み  
スタート

万博や社会課題解決を学ぶ  
小・中学校での  
教育プログラムの開発  
(大阪府教育庁との連携)

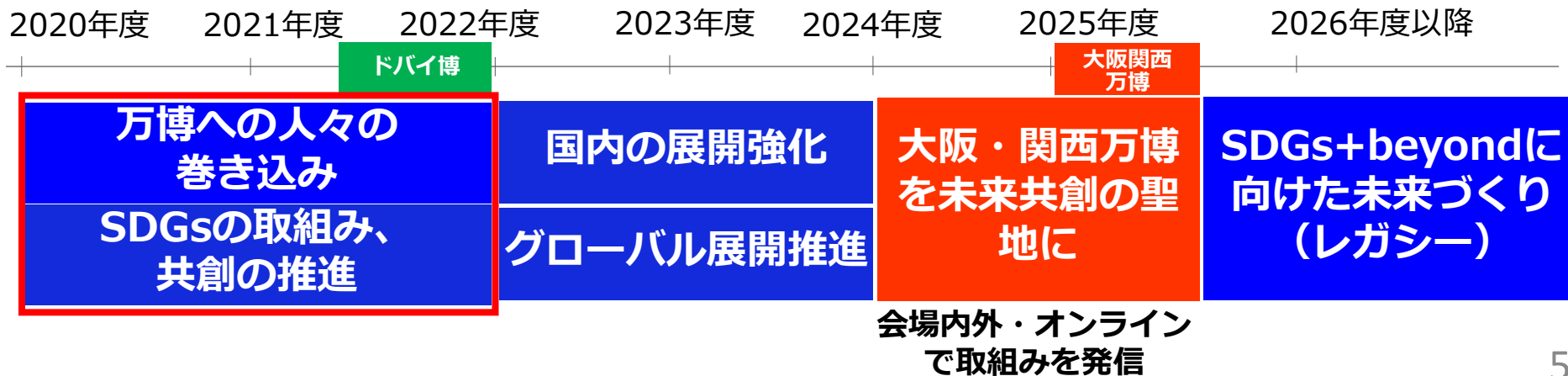
2025年には、万博会場を世界中から優れた社会課題解決事例が集積する「**SDGsの甲子園**」のような場に

# TEAM EXPO 2025の概要及び進め方

“TEAM EXPO 2025”とは

万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、  
多様な事業者や個人と連携し、理想としたい未来社会を共に創り上げる  
ムーブメント創出活動のこと。

万博の機運醸成に資する取組み(共創チャレンジ)を会期前より多数推進することで、  
「参加型万博」を体現するものとする。





## 1. 共創パートナー（支援をする法人・団体）

TEAM  
EXPO  
2025



未来のために、  
色々な人たちと  
取組みを進めて  
いきたいです！

(例) 広く共創チャレンジの未来社会における実装に向けて支援を実施するもの

- ・自治体などによる実証フィールドの提供
- ・ベンチャー支援組織等によるメンターの活用
- ・クラウドファンド等多様な資金調達
- ・メディアによるイベントやフォーラム

## 2. 共創チャレンジ（1つ1つのアクション）

TEAM  
EXPO  
2025



僕たちも万博に  
参加することが  
できるんだ！

私たちが考えた未来  
社会への取組がチャ  
レンジになるのね！



- (例)
- ・**SDGs** や**Society5.0**の実現に向けた活動（ロボットで過疎化を解決する活動など）
  - ・**文化や芸術**に関する創造的な活動（アートを通じ、人間が日常的に幸せを感じられる社会を創造する活動など）
  - ・万博のテーマや意義などの情報発信

# 大阪・関西万博プロデューサーの決定

## 会場デザインプロデューサー

藤本 壮介 (建築家)



## 会場運営プロデューサー

石川 勝 (プランナー、プロデューサー)



※敬称略

## テーマ事業プロデューサー

福岡 伸一

(生物学者、青山学院  
大学教授)

河瀬 直美

(映画監督)

石黒 浩

(大阪大学名誉教授、  
ATR石黒浩特別研究所客員所長)

落合 陽一

(メディアアーティスト)

河森 正治

(アニメーション監督、  
メカニックデザイナー)

小山 薫堂

(放送作家)

中島 さち子

(音楽家、数学研究者、  
STEAM教育家)

宮田 裕章

(慶応義塾大学教授)

「いのちを知る」



「いのちを育む」



© LESLIE KEE

「いのちを守る」



「いのちをつむぐ」



「いのちを広げる」



「いのちを高める」



© 蛭川実花

「いのちを磨く」



「いのちを響き合わせる」 7

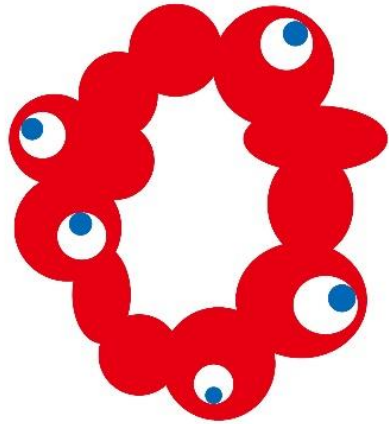


# ロゴマークの決定

## 最優秀作品

グループ名：TEAM INARI(チーム イナリ)  
作者(代表者)：シマダ タモツ  
(アートディレクター/グラフィックデザイナー)

70年大阪万博  
ロゴマーク



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO  
2025

## コンセプト

踊っている。跳ねている。弾んでいる。だから生きている。大阪・関西万博。1970年のデザインエレメントをDNAとして宿したCELLたちが、2025年の夢洲でこれからの未来を共創する。

関西とも、大阪府ともとれるフォルムを囲んだメインシンボルだけでなく、CELLたちは、文字や数字を描きだし、キャラクターとしてコミュニケーションする。自由に。有機的に。発展的に。いのちの輝きを表現していく。

# 今後の主なスケジュール



11/23 1月末 10月 12月

開催国決定

一般社団法人  
2025年日本国際博覧会協会設立

公益社団法人移行

BIEへの登録申請に係る閣議決定

登録申請書BIEへ提出

※各国へ示す実行計画

7月 8月 12月

プロデューサーの選定

ロゴマークの決定

BIE総会（登録申請書の承認）

基本計画策定・公表

※万博開催に必要な事業の方針や  
考え方をまとめた協会のマスタープラン

10月-3月末

ドバイ博（登録博）



إكسبو 2020 دبي  
دبي، الإمارات العربية المتحدة  
DUBAI, UNITED ARAB EMIRATES

4月-10月

大阪・関西万博開催

各国への参加招請活動

- ◆「モノを見せる場」から「**コトを感じる場**」に、  
「観る」万博から「**参画し、共に創る**」万博に
- ◆コロナウイルス感染症の地球規模の拡大という  
未曾有の局面を経験、世界の国々と  
「**いのち**」を考え、「**社会**」を検証し、**提案する機会**に

**「いのち輝く未来社会」の実現に向け、  
世の中を変える動きを  
創り出すような新しい万博に！**





# 2025年大阪・関西万博の成功を！

